

平成26年9月2日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

エアコン（窓用）、エアコン（リコール対象製品）に関する事故について

（詳細は次頁参照）

1. ガス機器・石油機器に関する事故 1件
（うちカセットこんろ1件）
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 8件
（うち自転車1件、電気冷蔵庫1件、エアコン（窓用）1件、
折りたたみ椅子1件、照明器具2件、エアコン1件、延長コード1件）
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 3件
（うちベッドフレーム1件、太陽電池モジュール（太陽光発電システム用）1件、
リチウム電池内蔵ケース（スマートフォン用）1件）
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）
において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）が輸入したエアコン（窓用）について（管理番号A201400308）

① 事故事象について

松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）が輸入したエアコン（窓用）を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品において、本体隙間からエアコン内部に入り込んだ雨水や結露水等が、製品内部の制御基板に入り込んだことにより当該基板部分が絶縁不良となり、出火に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2000年（平成12年）12月4日にプレスリリース及びウェブサイトに情報を掲載し、12月5日に新聞社告を掲載するとともに、新聞折り込みチラシの配布やポスター掲示、点検未実施の使用者への葉書投函、同社製品の交換部品にチラシを同封するなど、対象製品について無償点検・改修（防水シールの追加、防水部品の取り付け及び制御基盤の交換）を実施しています。

なお、今後も更なる無償点検・改修の促進に向けて取組を強化することとしています。

③ 対象製品：製品名、機種・型式、対象製造期間、対象台数

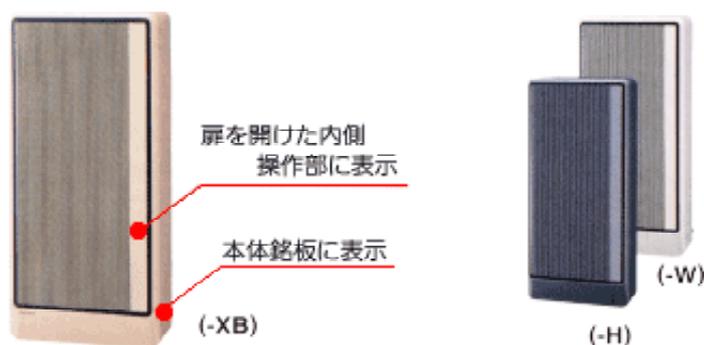
製品名	機種・型式	対象製造期間	対象台数	
冷房専用タテ型 エアコン	CW-145DS-W CW-145DS-H	1989年製	5,000	
	CW-165DS-W CW-165DS-H	1988年 ～1989年製	12,000	
	CW-C16AS-W CW-C16AS-XB	1990年 ～1992年製	50,000	
	CW-C18AS-W CW-C18AS-XB	1989年 ～1992年製	42,200	
	CW-C16FS-W CW-C16FS-C	1993年～1996年製 1993年製	46,938	
	CW-C18FS-W CW-C18FS-C	1993年～1996年製 1993年製	24,600	
	合 計			180,738

2000年（平成12年）12月4日からリコール（無償点検・改修）を実施
改修率 38.8%（2014年7月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201400308）発生以前の、2010年度以降同社が輸入したエアコン（窓用）におけるリコール対象の内容による事故は、発生していません。

<対象製品の確認方法>

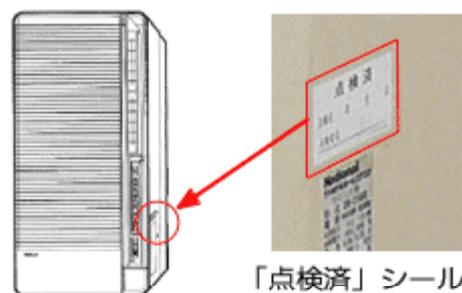


-XB: ベージュ -X: ホワイト -H: グレー

(点検済みの確認)

点検が済んでいる商品には、本体正面から見て右側側面に「点検終了」のシールが貼ってあります。

「点検済」シールが貼付されている場合は、点検は実施されており、御連絡は不要です。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

パナソニック株式会社

電話番号：0120-878-570

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://panasonic.co.jp/ap/info/important/aircon/index.htm>

(2) 東芝キヤリア株式会社が製造したエアコンについて（管理番号A201400313）

①事象について

東芝キヤリア株式会社が製造したエアコンを使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のファンモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着・侵入し、さらに、当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこむことによって、トラッキング現象が生じ、出火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2004年（平成16年）8月19日にプレスリリース及びウェブサイトにて情報を掲載（2013年6月10日再掲載）し、翌8月20日に新聞社告を掲載するとともに、ダイレクトメールの送付、電話による連絡、新聞折り込みチラシ、交通広告（電車内）、全国自治体の広報誌への情報掲載等を通じて注意喚起を行い、対象製品について無償点検・改修（シリコンを充てんしたコネクタカバーを被せる又はファンモーターの交換）を実施しています。

なお、本年は、東芝製品全般の修理時や消費生活センター等においてポケットティッシュ（対象製品の写真等を同封）やチラシの配布を行うとともに、地方公共団体の広報誌への情報掲載、介護施設や工事・サービス業者へのPRを行うなど、引き続き注意喚起及び無償点検・改修を呼び掛けています。

③対象製品：機種・型式、対象製造番号、対象製造期間、対象台数

機種・型式	対象製造番号	対象製造期間	対象台数
RAS- 225LDR、255LDR、285LDR、 325LDR、406LDR、506LDR、 255LDR-D、285LDR-D、 406LDR-D 255LDR-G、285LDR-G 2559SDR、2859SDR、 4069SDR、 V285DR	全ての製造番号	1998年9月 ～ 2000年6月 (RAS-xxxLD Rシリーズ)	218,626
RAS- 225YDR、255YDR、285YDR、 325YDR、405YDR、406YDR、 506YDR 255YDR-D、285YDR-D、 406YDR-D V285DR3、2833D-I		1999年9月 ～ 2001年3月 (RAS-xxxYD Rシリーズ)	287,560
HAS- M221FDR1、M281FDR1 RAK- 285DR3、405DR3 RAG- 283KE、323KE、403KEJ	911*****、912***** 001*****、002*****、 003*****、004*****、	1999年11月 ～ 2002年1月	20,259

SIK- J500AX、J630AX、P500HX、 P630HX (東京ガス(株)ブランド) TS- B2842U-S(GY)、 B3242U-S(GY)、 B4052U-S (大阪ガス(株)ブランド) 144-0014、144-0015 144-0016、144-0017 144-0019 (東邦ガス(株)ブランド) THCI-4932RC	005*****、006*****、 007*****、008*****、 009*****、010*****、 011*****、012***** 101*****、102*****、 103*****、104*****、 105*****、106*****、 107*****、108*****、 109*****、110*****、 111*****、112***** 201***** (*****は任意の数字)		
合 計			526,445

2004年(平成16年)8月19日からリコール(無償点検・改修)を実施
改修率: 76.9%(2014年7月31日時点)

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故(管理番号A201400313)発生以前の、2010年度以降同社が製造したエアコンにおけるリコール対象の内容による事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2014年度	3	火災	2011年度	3	火災
2013年度	3	火災	2010年度	5	火災
2012年度	3	火災			

<対象製品の外観及び確認方法>

対象製品の外観(写真はLDRシリーズ)



対象製品の確認方法：対象製品の機種・型式は、下図の位置に表示されています。



製造番号の確認方法：銘板の右下隅に下記8桁の番号が印刷されています。

001 * * * * *

↑ ↑ ↑
月 連番

西暦下1桁
9:1999年製
0:2000年製
1:2001年製
2:2002年製

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

東芝キャリア株式会社

電話番号：0120-444-899

FAX番号：0120-445-175

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.toshiba-carrier.co.jp/info/article/article-02.htm>

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 木原、後藤、清重
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(松下電器産業株式会社 (現 パナソニック株式会社) が輸入した
エアコン (窓用) について、東芝キャリア株式会社が製造したエア
コンについての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 水野、大塚 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201400311	平成26年8月20日	平成26年8月29日	カセットこんろ	A-7(岩谷産業株式会社ブランド)	株式会社旭製作所(岩谷産業株式会社ブランド)	火災	当該製品に他社製のカセットボンベを装着して点火したところ、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	滋賀県	製造から30年以上を経過した製品

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201400305	平成26年8月13日	平成26年8月28日	自転車	X-Caliber 5	トレック・ジャパン株式会社(輸入事業者)	重傷1名	当該製品で走行中、当該製品の前輪が外れ、転倒し、負傷した。現在、原因を調査中。	秋田県	
A201400307	平成26年8月16日	平成26年8月29日	電気冷蔵庫	SR-111T	三洋電機株式会社(輸入事業者)	火災	工場で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	兵庫県	
A201400308	平成26年8月11日	平成26年8月29日	エアコン(窓用)	CW-C16AS	松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社)(輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品において、本体隙間からエアコン内部に入り込んだ雨水や結露水等が、製品内部の制御基板に入り込んだことにより当該基板部分が絶縁不良となり、出火に至ったものと考えられる。	千葉県	製造から20年以上経過した製品 平成12年12月4日からリコールを実施(特記事項参照) 改修率:38.8% 8月21日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201400309	平成26年6月4日	平成26年8月29日	折りたたみ椅子	なし(株式会社キャンデュブランド)	コンセプトアイズ株式会社(株式会社キャンデュブランド)(輸入事業者)	重傷1名	当該製品を使用中、当該製品の座面が裂け、腰を負傷した。現在、原因を調査中。	埼玉県	事業者が事故を認識したのは7月30日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し厳重注意 8月7日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201400310	平成26年8月5日	平成26年8月29日	照明器具	FA41006	松下電工株式会社(現 パナソニック株式会社)	火災	学校で当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	愛知県	製造から35年以上経過した製品

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400313	平成26年7月28日	平成26年8月29日	エアコン	RAS-406LDR	東芝キャリア株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品のファンモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着・侵入し、さらに、当該製品内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこむことにより、トラッキング現象が生じ、出火に至ったものと考えられる。	東京都	製造から10年以上経過した製品 事業者が事故を認識したのは8月26日 平成16年8月19日からリコールを実施(特記事項参照) 改修率:76.9%
A201400314	平成26年8月20日	平成26年8月29日	照明器具	FHA42602PH1	松下電工株式会社 (現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	製造から15年以上経過した製品
A201400315	平成26年7月19日	平成26年8月29日	延長コード	WH23335TNP	松下電工株式会社 (現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	熊本県	製造から25年以上経過した製品 事業者が事故を認識したのは8月22日

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201400304	平成26年7月21日	平成26年8月28日	ベッドフレーム	重傷1名	当該製品の角に脚をぶつけて、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは8月22日
A201400306	平成26年8月19日	平成26年8月28日	太陽電池モジュール(太陽光発電システム用)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の設置状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	
A201400312	平成26年7月25日	平成26年8月29日	リチウム電池内蔵ケース(スマートフォン用)	火災	当該製品をスマートフォンに接続し、他社製充電器で充電していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは8月25日 8月7日に消費者安全法の重大事故等として公表済

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

自転車（管理番号：A201400305）



電気冷蔵庫（管理番号：A201400307）



折りたたみ椅子（管理番号：A201400309）



照明器具（管理番号：A201400310）



照明器具（管理番号：A201400314）



延長コード（管理番号：A201400315）

